

環境保全活動に関する方針等 別紙1

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 三菱電機㈱ 高周波光デバイス製作所

三菱電機北伊丹地区環境方針

三菱電機北伊丹地区(以下:当地区)は半導体デバイスの開発・製造機能を有し、電気エネルギー、化学物質等を大量に使用しており、環境に及ぼす影響は極めて大きい。

当地区は地球環境と地域社会に調和した事業活動を推進するために、環境方針を以下の通り定め、事業経営との共生を図りながら当地区の事業活動、製品及びサービスの全てに適用し、持続可能な発展を目指す循環型システムの追求に取り組むと共に、継続的な向上及び環境汚染等の予防を図る。

21年度は「三菱電機グループ環境計画2023」の初年度であり、環境ビジョン2050に向けた第一歩として、「生産時」と「製品使用時」の双方でCO₂排出量の削減計画を確実に実行し、事業を通じた環境課題の解決に貢献する。

【重点項目】

1. 環境経営の推進

以下の省エネ・省資源化活動を推進する。

- (1) 製品性能向上による製品使用時CO₂削減
- (2) 生産時CO₂排出削減: 21年度排出量目標値 31,060t-CO₂ 以下
 - ①エネルギー起源CO₂排出量: 28,660t-CO₂ 以下
 - ②温室効果ガスの排出量(SF₆, HFC, PFC): 2,400t-CO₂ 以下
- (3) 化学物質のイン/アウト管理を徹底し、排出を抑制する。
- (4) リサイクル水の利用を継続し、水資源の有効利用に努める。

2. 環境コンプライアンスの徹底と環境不具合の撲滅

環境関連法規を十分に理解した活動を展開し、環境重大不具合発生ゼロを継続する。

3. 環境マインドの育成とCSR視点による環境コミュニケーションの推進

社員やその家族に「生物多様性」に配慮する環境マインドを育成すると共に、地域社会と連携して社会貢献活動の輪を広げる。

4. 当地区の従業員に環境方針を周知すると共に、環境教育・広報活動等により、更なる環境意識の向上と環境人材の育成を図る。

2021年 4月 1日

竹見政義
北伊丹地区環境総括責任者: 高周波光デバイス製作所長

環境保全活動に関する方針等
別紙2

環境保全活動に関する組織体制

三菱電機(株) 本部・本社部門 半導体・デバイス事業本部

北伊丹地区環境総括責任者
(三菱電機(株) 高周波光デバイス製作所長)

北伊丹地区環境会議

メンバー

北伊丹地区環境総括責任者

部門長

関係会社 所長

地区環境推進責任者

(製造管理部長)

地区環境監査責任者

(品質保証部長)

幹事

地区環境推進事務局リーダー

北伊丹地区環境内部監査チーム
地区環境監査責任者
(品質保証部長)

北伊丹地区環境推進責任者
(製造管理部長)

北伊丹地区環境推進事務局
リーダー
環境・インフラ管理課長

北伊丹地区環境推進委員会

委員長：地区環境推進責任者

委員：部門環境推進委員

幹事：地区環境推進事務局リーダー

三菱電機(株) 北伊丹地区 各部門

環境保全対策の実施状況

別紙 3

項 目	令和2年度の取組結果	項 目	令和3年度の取組計画
生産時CO2 排出削減	1. エネルギー起源CO2排出削減 排出総量目標 32,220t-CO2以下を計画 排出総量実績 26,592t-CO2以下 2. GHG排出削減 (1) 温室効果ガス排出総量削減 排出総量目標 2,501t-CO2eq.以下を計画 排出総量実績 1,679t-CO2eq.以下 (2) プロセスガス排出量抑制 プロセスガスの購入量を把握し、適正な処理を実施した。 (3) 業務用冷凍空調機器の適正管理 フロン機器の点検実施 簡易点検:937台 定期点検:130台 期限内に実施済	製品・サービスによる 環境貢献	1. 省エネルギー製品の開発 2. 製品廃却率低減 3. 総合コスト改善
	1. 水の維持管理活動 取水量:835,865㎥ 2. 減量化製品の開発、部材ロスの削減 減量化製品の出荷台数実績:0.9K台		
事業所における資源 有効活用の促進	1. みつびしでんき野外教室・里山保全活動の継続開催 コロナ禍のため、集合形式ではない家族単体で楽しむ ことの出来る野外教室「生きものみつけ」を開催、「瑞ヶ 池公園の桜を育てる会」は中止。 2. 事業所の生物多様性保全活動の継続 「きいたみガーデン」の維持管理(猪名の笹原モデル園)	事業活動における 環境負荷低減	1. エネルギー起源CO2排出量:28,660t-CO2以下 2. 温室効果ガスの排出量(SF6,HFC,PFC) ;2,400t-CO2以下
自然共生社会実現に 向けた取り組み	1. みつびしでんき野外教室・里山保全活動の継続開催 コロナ禍のため、集合形式ではない家族単体で楽しむ ことの出来る野外教室「生きものみつけ」を開催、「瑞ヶ 池公園の桜を育てる会」は中止。 2. 事業所の生物多様性保全活動の継続 「きいたみガーデン」の維持管理(猪名の笹原モデル園)	新しい価値観、 ライフスタイルの発信	1. みつびしでんき野外教室・里山保全活動の継続 2. 事業所の生物多様性保全活動の継続
環境経営基盤の強化	1. 近隣とのコミュニケーション活動の推進 コロナ禍のため、必要最小限で近隣自治会及び各種団 体との情報交換会を実施。 2. 有害物質の適正管理による健康障害防止 危険物倉庫/毒劇物倉庫の定期点検(1回/月)を実施。 3. 製品廃却の最小化 製品廃却率:目標0.07%以下 実績:上期0.01%、下期:0.005%	環境経営基盤の強化	1. 近隣とのコミュニケーション活動の推進 2. 有害物質の適正管理による有害物質の漏洩・流出等 防止 3. PCB含有機器の適正な処分